

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査の結果】

1. 調査の目的

ツバクロ発生土置き場直下の断層の有無・断層の特性を確認する。

2. 日時

現地調査：令和6年11月6日（水）
AM5：00～PM8：00

3. 調査者

- ・ 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議
地質構造・水資源専門部会委員 塩坂邦雄
- ・ JR東海職員3名
- ・ 静岡県職員3名

4. 調査方法

(1) 資料調査

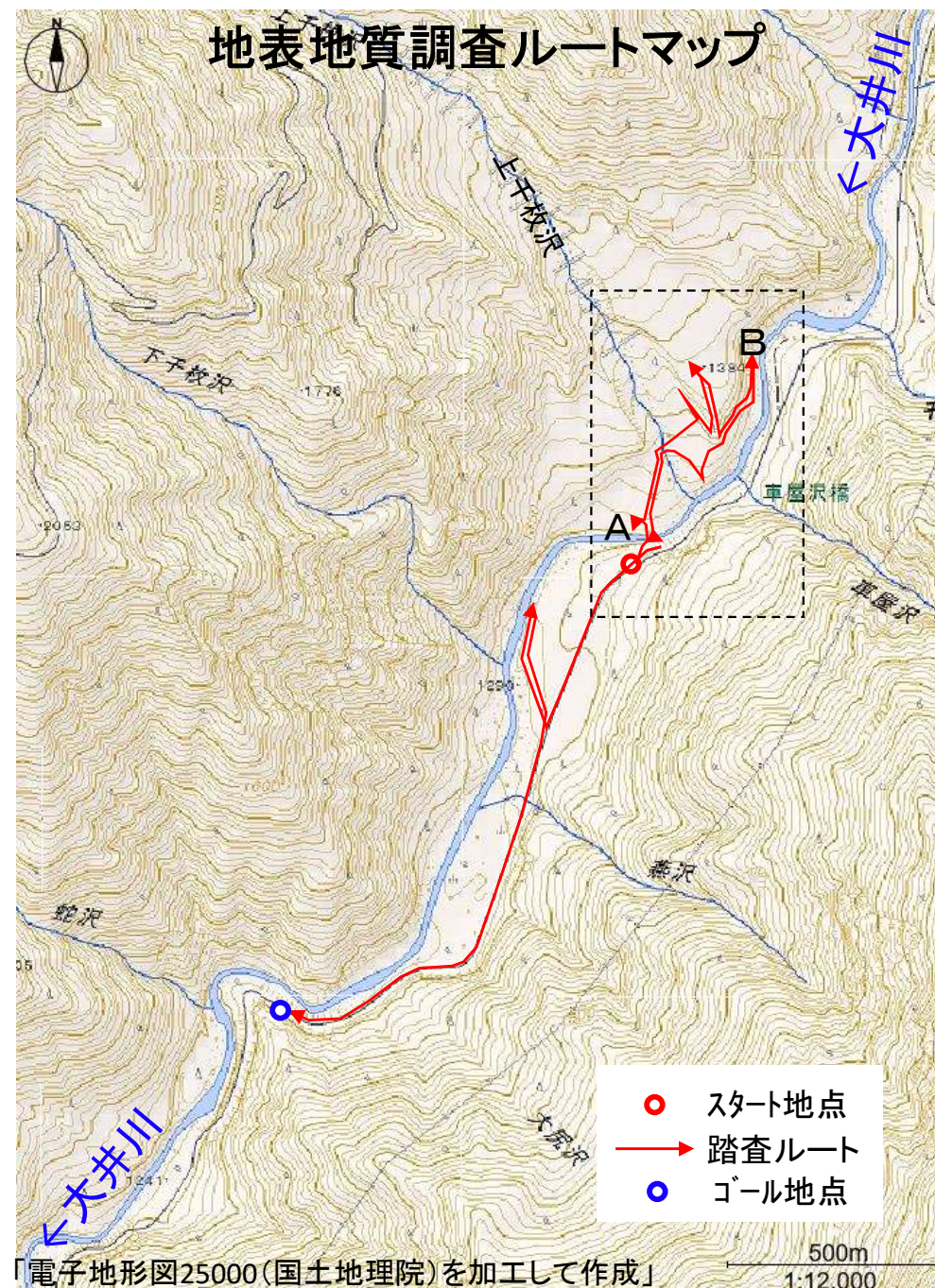
- ・ エルザマップ、地形図、地質図の判読

(2) 地表地質調査

- ・ 断層露頭部の確認
 - ・ 活断層による変動地形の確認
- ※ルートは右図のとおり

5. 総合解析

6. 補足

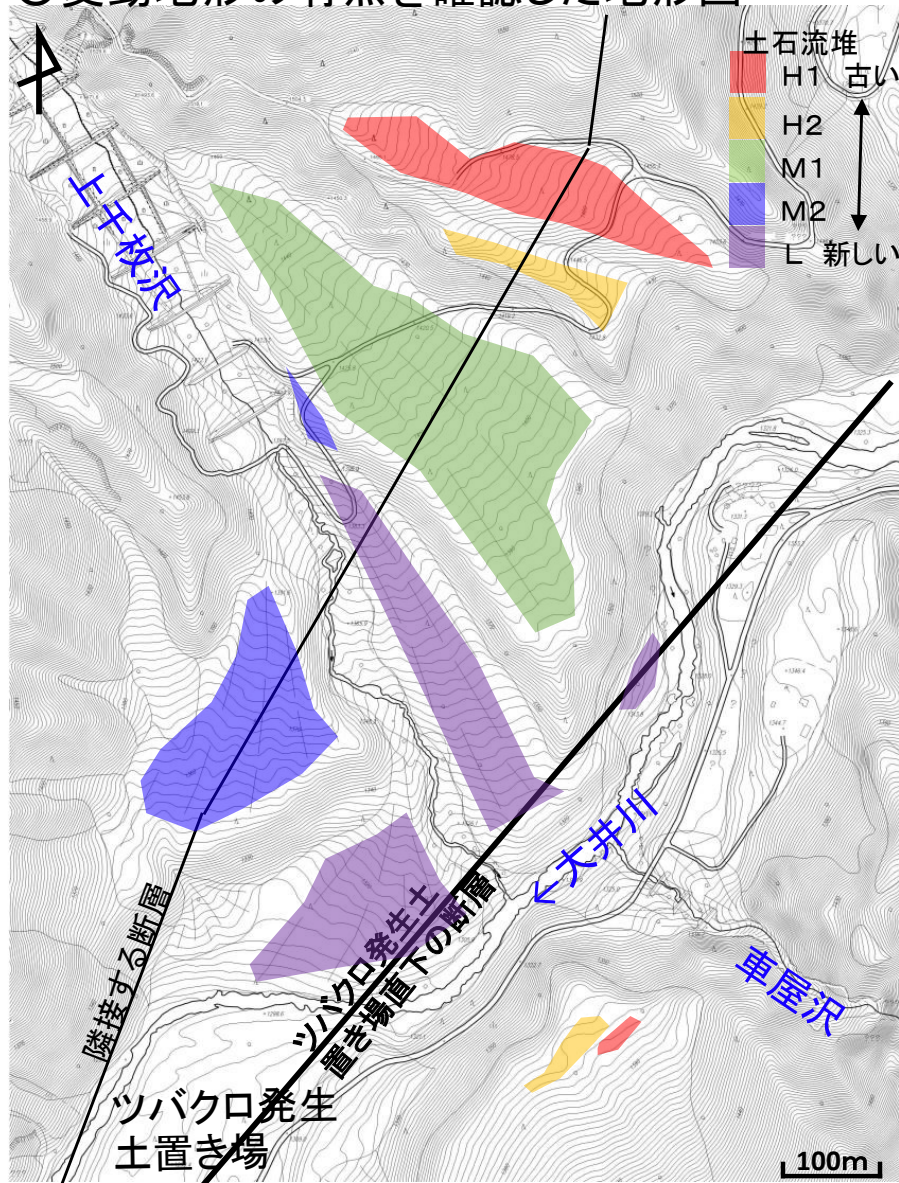


ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】

【資料調査】

○変動地形の有無を確認した地形図



現地調査前にJR東海が過去に実施した測量成果である地形図を用いて、ツバクロ発生土置き場直下の断層に隣接する断層付近で変動地形がないか確認した。

ツバクロ発生土置き場直下の断層が活断層であれば、隣接する断層も変位する。しかし、隣接する断層上に堆積する上干枚沢の土石流堆(約20,000年前以降に堆積)は、一定勾配で堆積しており、崖地形などの勾配の急な変化はなく、変動地形は認められない。

○現地調査の様子



土石流堆積面を踏査

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】

【地表地質調査】 踏査箇所図

地質構造

断層

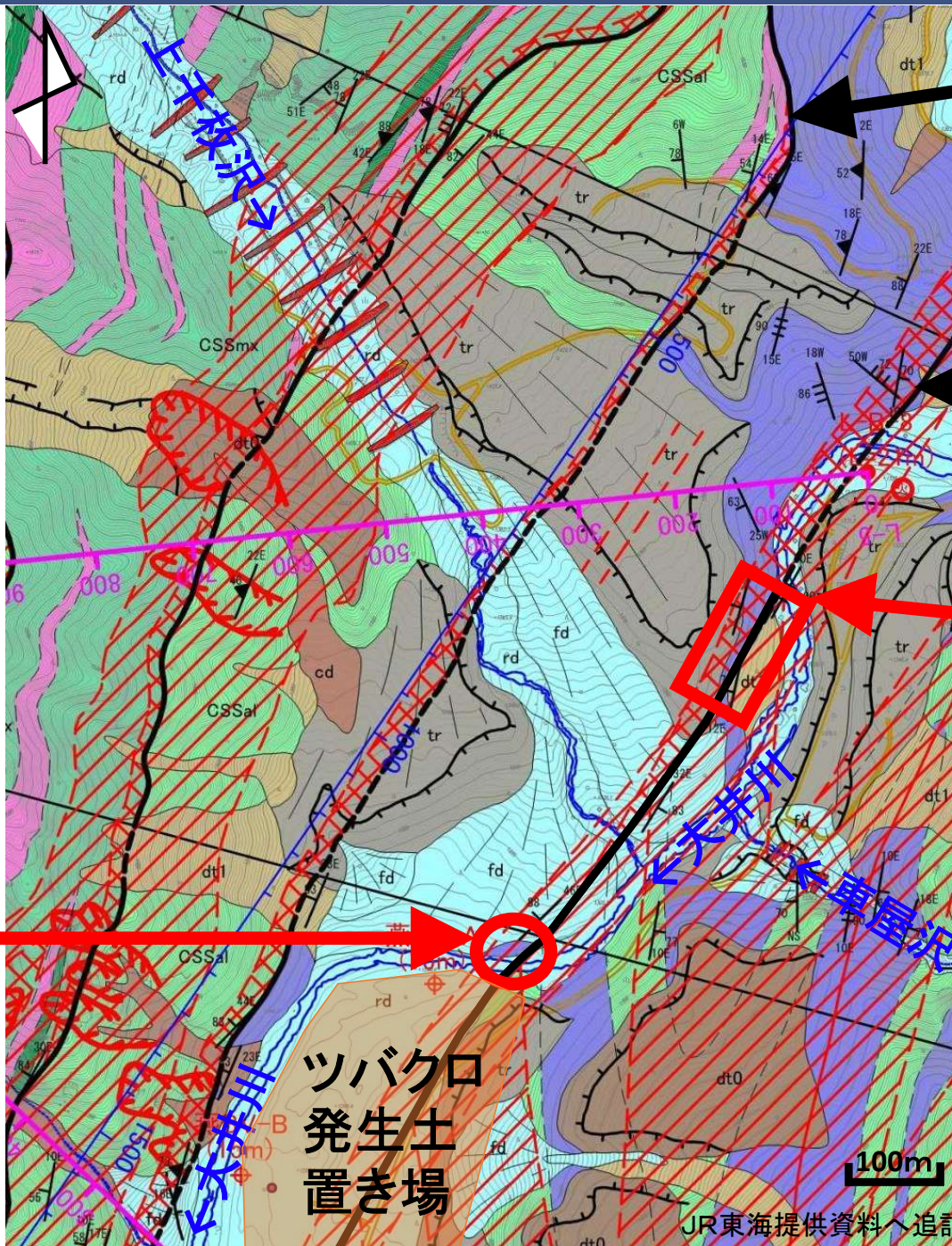
破碎帯

割れ目集中帯

地表地質調査箇所

【A地点】

・断層の露頭



ツバクロ発生土
置き場に隣接する断層

ツバクロ発生土
置き場の直下を
通る断層

地表地質調査箇所
【B地点】

・断層の露頭
・河岸段丘堆積物

※露頭
基盤岩が地表に現れ
ている場所

ツバクロ
発生土
置き場

100m

JR東海提供資料へ追記

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】

地表地質調査箇所【A地点】



ツバクロ発生土置き場の直上流の基盤岩の露頭にて、断層の方位

(N34E:北から東に34°)を確認し、ツバクロ発生土置き場へ、推定線のとおり「断層」が伸びていることが確認できた。

このためツバクロ発生土置き場直下に断層が存在していることが確認された。

- 断層
- ずれの向き

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】

地表地質調査箇所【A地点】



断層面にて断層の角度を確認し「N34E, W88」であった。(北から東に34°の方位、西向きに88°の傾斜)

直角に近い角度で落ちる断層であるため、「横ずれ断層」である。

断層面にて「左横ずれ断層」である事を示すステップを確認した。

※ステップ：断層がずれたことで生じる段差

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】

地表地質調査箇所【B地点】



大井川右岸に見られた基盤岩の露頭にて、ツバクロ発生土置き場方向へ伸びる「左横ずれ断層」の断層面を確認した。

加えて、数千年前に形成されたとみられる河岸段丘の堆積物には、変動地形が見られなかったため、この断層は活断層ではないと言える。

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】

地表地質調査箇所【B地点】 ※前項写真の右下の断層面で見られた破砕帯と鏡肌



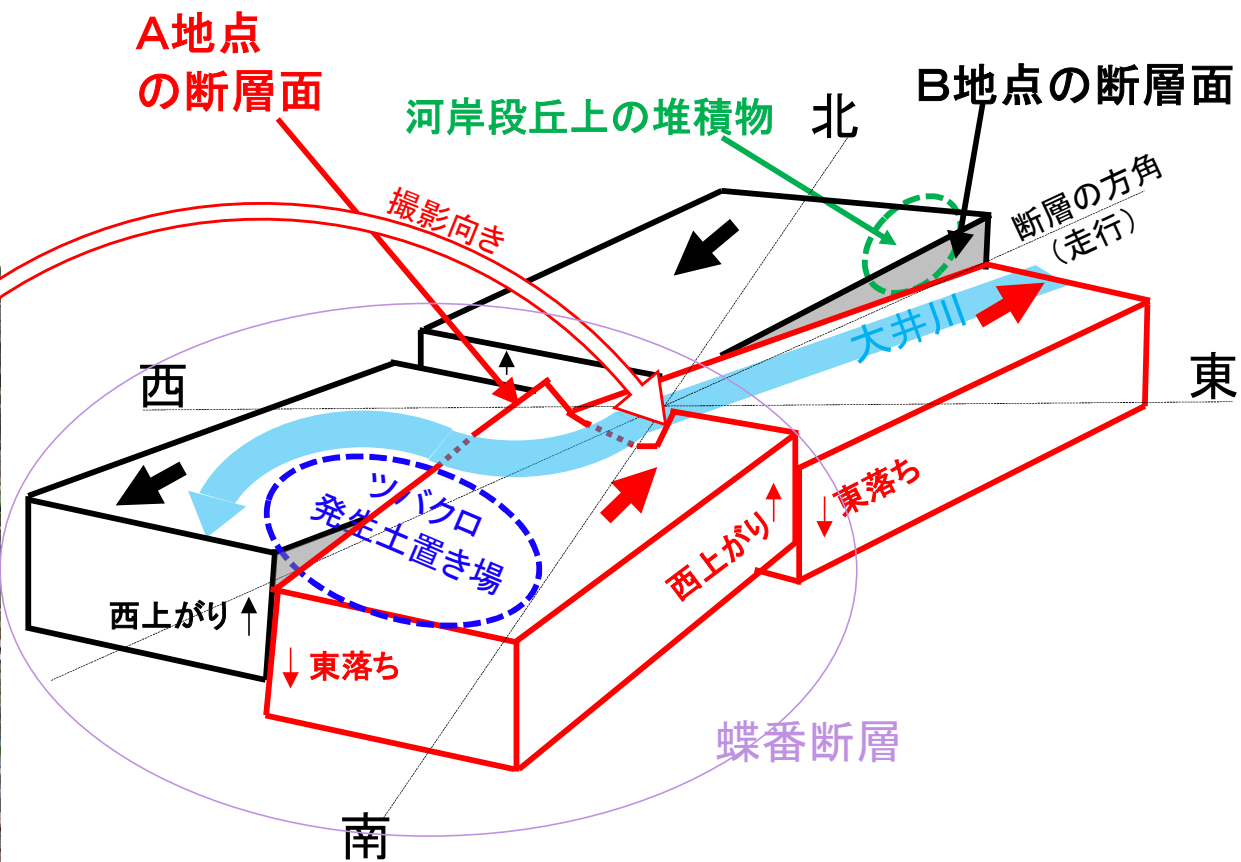
断層では、幅20cm程度の破砕帯を
確認できる。



断層面には、鏡肌を確認することができる。
※鏡肌：断層がずれた際の摩擦で生じる光沢のある岩肌

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査(11/6)の結果】



地表地質調査箇所【A地点】【B地点】を調査したことにより、ツバクロ発生土置き場直下を通る「左横ずれ断層」は「蝶番断層」であることが確認できる。

また、【A地点】の対岸（大井川左岸）では、西上がり、東落ちの断層も確認できた。以上から、ツバクロ発生土置き場直下でも、基盤岩には断層のずれによる東落ちの段差(3m~5m)が発生している可能性がある。

ツバクロ発生土置き場直下の断層

【塩坂委員による調査資料精査及び現地調査の結果】

5. 総合解析

- ・ツバクロ発生土置き場直下には断層が存在する。
- ・断層特性
 - 左横ずれ断層(蝶番断層:西上がり、東落ち)である。
 - －ステップ、鏡肌、破碎帯、周辺地層の引きずりが確認できる。
 - －断層変位1.5～5.0m
- ・下位段丘面に変動地形は見られないことから活断層ではない。

6. 補足

ツバクロ発生土置き場の直下に断層があることは明確である。
断層の位置や特性をさらに正確に把握するためには、追加調査としてトレンチ調査やボーリング調査、弾性波探査といった調査が考えられる。